

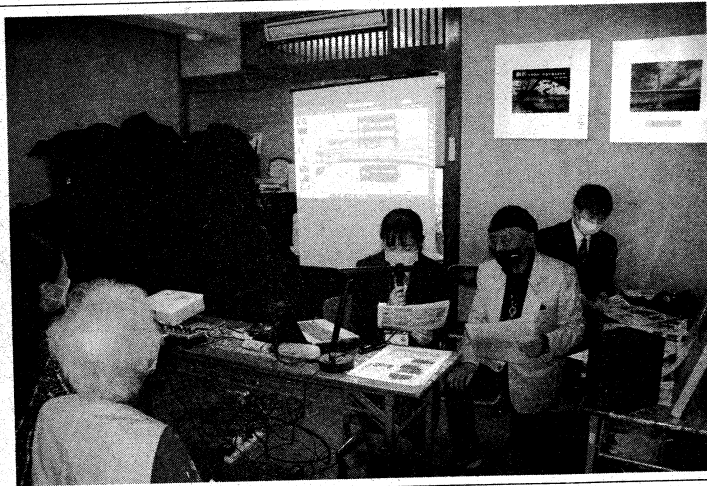


岳南朝日新聞社  
〒418-0033  
富士宮市野中東町46-1

# 富士宮高校会議所 被災地復興の現状伝え

## フォトジャーナリスト 庄司さんが講演

富士宮高校会議所が  
レゼンツ「動画で語る  
新感覚の講演会」が11  
日、同市の西町レトロ  
館で開かれた。東日本  
大震災直後から現地入  
りして記録を撮り続け



るフォトジャーナリス  
トの庄司博彦さんが  
「震災遺構のひとり言」  
をテーマに講演し、写  
真中、継続して撮影

するたびに目の前から安全な街に再生してい  
く被災地を痛感。津波の常襲地が  
壊壊の爪痕が消えていないことを紹介した。  
講演は、庄司さんが被災現場で見た、屋上

に乗り上げたバス、大型漁船、防災対策庁舎、奇跡の一本松などの気持ちになっただけのひとり言風につづった文章をメンバーが順番に朗読。庄司さんが、それら震災遺構の気持ちになり写した写真や動画に説明を加える形で進められた。震災が発生した午後2時46分には全員で黙とうして哀悼の意を表した。

最後に庄司さんは「災害報道は『忘れないこと』が基本ではないかと考える。今後も遺族だけが知る事実や苦しみと向き合い、災害の現場を伝え続けた」と締めくくった。

訪れた人たちは、復興に向けて歩みを進める中であの日から今、そして未来について考察していた。